

えびす 神社

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

えびす神社は、大崎・花里崎で祀られています。名前の通りえびす神社は大漁を祈願する場であり、生業を営む漁師にとっては神聖な領域です。

大崎のえびす神社



コンクリート造りで高さ約1m。屋根の部分は巨大な一枚のサンゴ石。その横の長さ1・二m。

花里崎のえびす神社



本体すべてが積み石造りで高さは八・七m。屋根の部分はサンゴ石を重ねてある。横の長さ1・二m。

平成2～3年ごろ、漁具倉庫を造るために現在の場所に神社を移設しました。のちに港の海中からみごとなテーブルサンゴ（ぬけ殻）が見つかり、それを屋根にしました。



えびす祭は7月始めに行われます。午前中に清掃をし、神様に捧げる魚を獲って刺身にします。午後は刺身と焼酎、水を供えて小組合員16名で祭典です。会長と会計が先に参拝し、その後に小組合員が続きます。そして直会です。以前は花里崎と一緒に小組合をつくっていましたが、現在は花里崎に漁業関係者がいないため、大崎だけでえびす祭をしています。このような経緯があり、元小組合だった花里崎にも毎年刺身を届けます。

You Tube「種子島の話：大崎の定置網漁」

ぜひ、ご覧ください！

この神社を参拝するのには、ちょっとした山登りの技術が必要です。長瀬漁港からは神社本体が見えません。そのため巨岩を這いつくばりながらよじ登らないと行けません。（右写真）

毎年5月末～6月始めのいずれかの日に役員が汐祭（しおまつり）を行います。

前日に伊勢神社からいただいたお大麻（「天照大御神」の札）と塩、焼酎を携えて、役員は日の出前の朝早く誰にも合わないようこの神社を参り、大漁と五穀豊穡を祈ります。

参拝後は、竹の先を割ったものにお大麻を挟み、えびす神社下の瀬に投げ入れ、再度祈願します。そのあと直会です。



出典ウィキペディア

えびす様（左写真）は七福神の一員で、もともとは海の向こうから時たま現れて、地元で福を与えるという民間信仰から生まれた神様のこです。大崎の田の神様が海の近く（右写真）で祀られているのも、海からの豊穡（詳細は第70号）と田畑の五穀豊穡とを重ねて願っているとは考えられないでしょうか。



大崎の田の神様

取材協力：秋山一弘さん 花里涼司さん 塩崎義直さん 長野正育さん 平原月人さん
平原弘巳さん 松田啓希さん（五十音順）